

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	40	05	高津区市民提案型協働事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		齊藤	64121	

事業の概要

事業の概要	(1)市民の提案を基に、市民と協働で地域の課題を解決する。 (2)市民から事業提案を募集し、その提案の中で優れたものを選定し、その事業を提案者(市民)自らが区と協働して執行する。 (3)事業選定に当たっては、高津区市民提案型協働事業審査委員会による審査を行う。								
	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業						
実施期間	平成18年度	—							
地域の課題と現状	地域の課題が多様化する中で、すべての区民ニーズに行政がきめ細かに対応することは困難な状況にある。一方で、地域においては市民による公共的な活動が行われている。市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、課題の解決やサービスを提供していく必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3623	2367	3,642	1,518				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財		0	0	0				
	一般財源	3623	2367	3,642	1,518				

計画 (Plan)

事業の目的	市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、地域課題の解決やサービス提供をしていく。
今年度の事業の取組内容	(1)令和6年度事業の選定にあたっては、公開プレゼンテーションを開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が決定する。 (2)令和5年度実施事業(2事業)について、中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行う。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	(1)令和6年度事業の選定にあたっては、公開プレゼンテーションを2日間で開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が5事業を選定した。 (2)令和5年度実施事業を2事業実施し、中間ヒアリングや相談会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行った。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	活動指標	公開プレゼンテーションの開催	目標	1	1			
				実績	2	2			
	2	活動指標	審査委員会の開催	目標	1	1			
				実績	2	2			
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。		
事業の見直し・改善内容	☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目			
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	令和6年度実施事業にあたっては、多数の相談・応募があり(件数非公開)、審査委員会による選考を経て5事業が選定したため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業評価については、次年度の事業をより効果的なものとするため、中間報告の体制を変更するなど内容や仕組みを改善する必要がある。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	来年度も事業提案を引き続き募集・選定するとともに、事業評価をより効果的に実施していくための検討を行う。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称							
款	項	目	大	中	小								
58	05	25	26	40	05	高津区市民提案型協働事業「社会人落語による地域活性化事業」							
担 当			所属コード			所属名			担当者	連絡先			
			675110			地域みまもり支援センター地域ケア推進課			瀧塚	64814			

事業の概要

事業の概要		社会人落語家によるアマチュア寄席を開催する。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域課題対応その他事業費	
		令和4年度		—					
地域の課題と現状		近年はコロナ禍で引きこもりがちになる方々（特に高齢者）が社会的な課題となっており、外出して社会交流のきっかけが必要である。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	249	80	243	52				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	249	80	243	52				

計画 (Plan)

事業の目的	社会人落語家によるアマチュア寄席の開催を通じて、特に高齢者を中心とした全世代の方々を対象に笑いで活気溢れる場を提供し、地域の活性化に貢献する。
今年度の事業の取組内容	やかん寄席～特別編～の開催や、高津区役所が主催、共催などをするイベントへ参加する。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	・やかん寄席特別編の開催(高津スポーツセンター、認知症グループホーム(地域交流室)、プラザ橋) 新規施設での開催について、近隣住民の参加も多く、気軽に参加できる場が提供できた。 ・たかつ区健康福祉まつりへの出展									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	やかん寄席～特別編～の開催	目標	2	3			回	
				実績	2	3				
	2			目標				回		
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		コロナ禍で娯楽に触れる機会が減ってしまう等、引きこもりがちになる方々(特に高齢者)にとっての外出のきっかけとして、またご近所で社会交流できる機会として、気軽に参加できる場の提供が求められている。							
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) ☒ 年度 ☐ 今後実施(6年度から)							
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		周知方法について、令和5年度は広く広報を行っていたが、団体の今後の活動を見据え、より効果的な手段を分析する。							
評価項目					評価				
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない b. 薄れている		a		
	評価の理由				落語や演芸という古典芸能の提供は、健康増進や活力維持のサポートといった点において有効である。				
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか				a. 上がっている b. 上がっていない		a		
	評価の理由				開催したやかん寄席はいずれも多くの来場、視聴があり、計画書で目的としていた「外出して社会交流のきっかけとなる」「笑いによる健康面での効果」「文化的な体験」などの成果が得られた。				
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。				a. 可能性はない b. 可能性はある		b		
	評価の理由				提案団体等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていく。				

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	本事業は市民提案型協働事業であるため市民団体からの提案を受けて実施するものがあるが、令和6年度も提案があり、採択されたため、引き続き実施する。 継続実施をしていくことにより、多くの区民へ古典芸能を伝えていくことや、より身近な地域施設で公演を開催することで、継続公演を実現する。また公演を通じ、多世代交流や、笑いによる健康増進といった地域ケアの推進に寄与する。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小	高津区市民提案型協働事業 『Scratch×Soccer』スポーツとプログラミングで子ども達の未来を育む事業			
58	05	25	26	40	05				
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		まちづくり推進部地域振興課			石丸	64352

事業の概要										
事業の概要		“将来のIT人材を生み出すことと、スポーツのまち川崎を代表するような体を動かすことが好きな子ども達で溢れる健やかなまちづくり”を目標に、高津区内の小学生を対象して、川崎フロンターレなど地域団体と連携し、スポーツ(運動)とIT(プログラミング)を掛け合わせたワークショップ(Scratch×Soccer)を開催する。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域課題対応その他事業費			
		令和4年度		—						
地域の課題と現状		スポーツ庁実施の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、本市は全国平均と比べて低い傾向が続いており、またスポーツが好きと答えた割合も低い傾向にあり、まずはスポーツを気軽に楽しむことができる取組みが求められている。								
予決算 (単位:千円)	財源内訳	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	287	287	966	850				
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	287	287	966	850				

計画 (Plan)	
事業の目的	ワークショップ(Scratch×Soccer)を開催することにより、スポーツ(運動)することの楽しさを体感させ、子ども達の健やかな成長につなげることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	区内小学校(6校程度)において、授業の一環としてワークショップを実施する。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		区内小学校の授業の一環としてワークショップ(Scratch×Soccer)を開催。 ①子母口小学校(11月13日(月)) ②梶ヶ谷小学校(11月27日(月)) ③西梶ヶ谷小学校(12月11日(月)) ④下作延小学校(12月13日(水))								
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
		1	成果指標	ワークショップの実施(参加者)	目標	90	500			人
					実績	330	520			
		2	成果指標	ワークショップ実施校	目標	3	6			校
					実績	3	4			
		3			目標					
					実績					
		4			目標					
					実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		スポーツ庁実施の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、本市は全国平均と比べて低い傾向が続いており、またスポーツが好きと答えた割合も低い傾向にあり、まずはスポーツを気軽に楽しむことができる取組みが求められている。					
事業の見直し・改善内容		☐ 実施（直近） 年度 ☐ 今後実施（ 年度から）					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載							
評価項目						評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	スポーツを気軽に楽しむことができる事業への関心やニーズは高まっている。					
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	学校の授業の一環として実施したことにより目標を上回る人数の参加を得た。					
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。					a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	役割分担や各コンテンツ内容の見直しなどによる経費削減や事務改善の可能性がある。					

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	ワークショップの内容を見直しながら今後も事業を継続していく。

令和5年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	40	10	高津区地域課題対応事業管理運営事業			
担 当			所 属 コー ド		所 属 名		担 当 者	連 絡 先	
			671650		まちづくり推進部企画課		山森	64122	

事業の概要

事業の概要		高津区地域課題対応事業の効率的・効果的な推進を支えるため、必要となる事務・管理運営を行う。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域課題対応その他事業		
		—		—					
地域の課題と現状		高津区内地域課題対応事業全体における管理運営上の課題を的確に見つけ出し、速やかに執行する必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1286	338	988	265				
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
	その他特財								
	一般財源	1286	338	988	265				

計画 (Plan)

事業の目的	高津区地域課題対応事業全体の適正かつ円滑な執行を図るため、その管理運営上必要となる事務・管理運営を行う。
今年度の事業の取組内容	地域課題解決に向けて必要な職員の知識の習得や能力向上、また、地域コミュニティ施策の推進に向けた職員の意識啓発等に向けた取組を行う。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った								
取組内容の実績等	高津区コミュニティ施策研修「高津区SDCの取組について」(eラーニング)を高津区役所職員向けに実施し、地域コミュニティ施策の推進に向けた知識の習得や能力向上、職員の意識啓発を行った。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標					
					実績					
	2				目標					
					実績					
	3				目標					
					実績					
	4				目標					
実績										

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		今後「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、市民創発により多様なつながりや居場所(まちのひろば)が創出されているまちを実現するにあたり、コミュニティ施策はますます重要になってくると考えられる。									
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)									
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載											
評価項目										評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか									a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	社会環境の変化により地域課題も絶えず変化することから、引き続きニーズがある。									
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか									a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	啓発活動により、区役所職員の間で一定以上の理解が図られた。									
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。									a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区内の課題を随時調査し、状況に応じた管理運営を行うことで、改善を行う。									

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	高津区地域課題対応事業全体における現状の課題を解決する一方で、今後も各課との調整を密に行い、適宜適切な事務・管理運営を行う。